

(陳受31第18号)

第六期長期計画に吉祥寺パークエリアの課題解決に向けて面的なまちづくり将来構想を検討する旨を盛り込むことに関する陳情

受理年月日

令和元年8月28日

陳情者

陳情の要旨

吉祥寺のパークエリアは武蔵野市民のみならず、多くの人々から愛される井の頭公園や武蔵野公会堂の玄関口に位置しています。しかし、南口駅前のパークロードには一日に700台もの路線バスが通行しているため、歩行者と路線バスが交錯し、警備員の誘導がなくては歩行者の安全が保たれないほどに危険な状況となっています。

さらに、パークエリアには駅利用者が快適に過ごせる滞留空間や、歩道などの歩行者空間が不足しており、井の頭公園に向かう横断歩道付近では信号待ちの人が時には車道にまであふれ、8つのバス停が連なって常に渋滞した井ノ頭通りを横断しなければならないなど、交通に多くの問題を抱えています。

また、パークエリアにおいても建物の老朽化が進行し、耐震性に問題がある建物も数多く存在している一方で、JRと井ノ頭通りに囲まれ、狭小で不整形な宅地が多い立地特性等から建物の建てかえが困難であり、地震などの災害時に多くの被害が発生することが懸念され、交通の課題解決とあわせて、「安心・安全」なまちづくりを早急に進めていかねばなりません。

これらの課題のほか、第五期長期計画で対応を急ぐ必要があるとしている、近接する井の頭公園などの観光資源を生かしたまちづくりや、交通環境の改善、市有地の有効活用など、数多くの課題や方針を俯瞰的に捉えてまちづくりを推進する必要があります。

パークエリアには広域的なまちづくり構想のもとに、全ての人々が、「安心・安全」で快適に過ごせる都市空間を創出していく必要があります。

以上の趣旨により武蔵野市に対して、第六期長期計画に吉祥寺パークエリアの課題解決に向けて面的なまちづくり将来構想を検討する旨を盛り込むことを求め、陳情いたします。